

(様式第1号)

令和2年10月12日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領域名：福祉用具と住環境に関する領域

科目名：福祉用具と住環境

単位数：2

認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：学校法人川崎学園 川崎医療短期大学

団体事務所の所在地：〒 701-0194

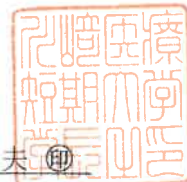
岡山県倉敷市松島 316 番地

電話：086-464-1032

FAX：086-463-4339

E-mail：shomu@jc.kawasaki-m.ac.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。



団体代表者：学 長 椿原 彰夫 (印)

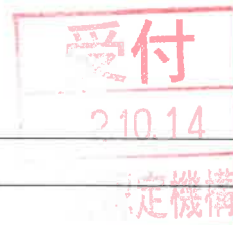
申請責任者：事務長 田中 俊行

記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

|       |  |
|-------|--|
| 受付    |  |
| 確認    |  |
| 委員付託  |  |
| 追加連絡  |  |
| 評価報告  |  |
| 理事会承認 |  |
| 認証番号  |  |



(別紙 1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 \_\_\_\_\_

(※は記入しないでください)

### 認定介護福祉士研修認証申請書

|           |   |
|-----------|---|
| 申請年月日     | 令和 2 年 10 月 12 日  |
| 申請団体名     | 学校法人川崎学園 川崎医療短期大学   |
| 申請団体代表者氏名 | 学長 椿原 彰夫  |
| 申請責任者職名   | 事務長   |
| 申請責任者氏名   | 田中 俊行   |
| 団体住所      | 〒701-0194<br>岡山県倉敷市松島 316 番地  |
| 同 Tel・Fax | Tel : ( 086 )-( 464 )-( 1032 )  |
| メールアドレス   | Fax : ( 086 )-( 463 )-( 4339 )<br>E-mail <u>shomu@jc.kawasaki-m.ac.jp</u> |
| 申請対象の領域   | 領域名 : 福祉用具と住環境に関する領域  |
| 科目名 (単位数) | 科目名 : 福祉用具と住環境 ( 2 単位)  |
| 申請する研修名   | 認定介護福祉士養成研修   |
| 研修認証実績    | 年 認証番号 ( )  |
|           | 年 認証番号 ( )  |
|           | 年 認証番号 ( )  |
| その他特記事項   |   |

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

|                |   |  |
|----------------|---|--|
| 申請対象の領域        | 福祉用具と住環境に関する領域  |  |
| 科目名            | 福祉用具と住環境  |  |
| (1) 提供する研修について |   |  |
| 研修名            | 認定介護福祉士養成研修   |  |
| 教育目標           | <p>○福祉用具に関する知識を習得して支援に活用することができる力を育成する。</p> <p>○住環境の知識を習得して家族や利用者に改修に関する提案できる力を育成する。</p>  |  |
| 到達目標           | <p>①福祉用具に関する基礎的な知識を習得し、支援に活用できる。</p> <p>②介護場面に応じて、福祉用具等を選択し、それらを活用した支援技術を習得し、実践できる。</p> <p>③住環境に関する基本的な知識を習得し、支援に活用できる。</p> <p>④在宅や施設を問わず、利用者の生活の場となる住環境を評価し、介護場面に応じて改善を提案することができる。</p>                   |  |
| 研修内容（研修プログラム）  | 含むべき内容  | 研修プログラム  |
|                | <p>移動介護において使用する福祉用具とその使用方法に関する基礎知識および支援技術</p> <p>移乗介護において使用する福祉用具とその使用方法に関する基礎知識および支援技術</p> <p>その他の福祉用具に関する基礎知識と支援技術</p> <p>利用者が自立した生活を送るための疾病や傷害の状況に応じた住環境に必要性と対策</p> <p>利用者の住環境評価</p> <p>生活及び介護場面に応</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動機器総論</li> <li>・歩行関連用具について（杖・歩行車・歩行器の種類や適応について）</li> <li>・車椅子（車椅子の種類や適応、・車椅子クッション、姿勢保持、ポジショニング、福祉車両について）</li> <li>・移乗動作関連用具（トランスファーボード・スライディングシートの種類、適応、意義について）</li> <li>・移動用リフト（移動動作関連用具としての移動用リフトの種類、適応について、演習を含む）</li> <li>・ADL 関連用具（ベッド、排泄、入浴、食事関連用具の種類と適応について）</li> <li>・コミュニケーション関連用具（コミュニケーション関連用具の種類、適応について、障害に応じたコミュニケーション関連用具の特徴と適応について）</li> <li>・住環境整備（住環境整備の基礎知識、他職種との連携）</li> <li>・住環境評価（演習）</li> <li>・障害別にみた福祉住環境整備</li> </ul> |

|                |  |   |
|----------------|--|---|
|                | じた住環境整備  | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活場面に応じた住環境整備（要介護状態の人に対する生活場面別に見た住環境誠意の具体例と対策）</li> </ul> <p>各項目について講義・演習を実施</p> |
| 研修方法           | <input checked="" type="checkbox"/> 通学課程（集合研修）<br><input type="checkbox"/> 通信課程（通信研修）  |   |
|                | ○集合研修講義で行う。<br>○参考図書：シーティング技術のすべて 木之瀬 隆 ， 森田智之他 医歯薬出版株式会社  |   |
| 研修時間           | 30 時間  |   |
| 修了要件           | ○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭などやむを得ない事情による遅刻、早退については、合計 30 分（遅刻、早退それぞれ 15 分）を上限として認める。やむを得ない事情による 30 分以内の遅刻・欠席があった場合、該当科目の講師の資料またはテキストによるレポート課題を提出する。<br>○筆記試験で 100 点満点中 60 点以上を得点し、合格すること。   |   |
| 講師要件（講師の選定基準）  | <ul style="list-style-type: none"> <li>当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</li> <li>修士課程または博士課程を修了している者</li> </ul>   |   |
| (2) 受講者について    |  |   |
| 受講対象（受講要件）     | 川崎医療短期大学医療介護福祉科 3 年次生  |   |
| 修了評価（習得度、研修成果） | <試験による評価><br>○筆記試験（50 問程度）<br>100 点～80 点を優、79 点～70 点を良、69 点～60 点を可、59 点以下を不可とする。不可（59 点以下）の場合は、再試験を行う。<br>優～可（100 点満点中 60 点以上）で修了とする。<br><評価基準><br>①移動、移乗、起位に関連する福祉用具とその使用方法について十分理解し、介護現場で応用できる。<br>②食事、排泄、入浴に関連する福祉用具とその使用方法について十分理解し、介護現場で応用できる。<br>③コミュニケーション関連用具、姿勢保持具、義肢装具、介護ロボットの種類とそれらを必要とするユーザー像を理解している。<br>④要介護高齢者が生活する住環境の課題や問題点を十分理解し、アセスメントに応用でき、支援に活用できる。<br>⑤住宅改造の基本的な知識について十分に理解している。<br>⑥在宅や施設を問わず、疾病や障害への理解を前提として、疾病や障害の特性を踏まえた住環境整備を理解し、介護現場で応用できる。 |   |
| (3) 研修の環境条件    |  |   |
| 定員（講師の配置基準）    | 50 名（講師 5 人）   |   |

|            |               |
|------------|---------------|
| 開催場所（都道府県） | 川崎医療短期大学（岡山県） |
|------------|---------------|

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

|             |   |
|-------------|---|
| (1) 研修の実施予定 |   |
| 実施日         | ① 令和5年4月～6年3月   |
|             | ② 令和6年4月～7年3月   |
|             | ③ 令和7年4月～8年3月   |
| 開催場所 (会場)   | ① 川崎医療短期大学  |
|             | ② 川崎医療福祉大学  |
|             | ③   |
| (2) 講師      |   |
| 担当、氏名及び略歴   | <b>担当講師 (講義・評価) :</b><br>藤田 大介 博士 (リハビリテーション学)  |
|             | <b>【職歴】</b>   |
|             | 平成6年～ 大阪市更生療育センター 理学療法士<br>平成9年～ 大原記念病院 理学療法士<br>平成12年～ 島根リハビリテーション学院 専任教員<br>平成18年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 講師<br>平成26年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 准教授<br>平成31年～ 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科 教授 (現在に至る)  |
|             | <b>【講師経験・社会活動等】</b>   |
|             | <b>【講師経験】</b><br>平成12年～ 島根リハビリテーション学院 専任教員<br>平成18年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 講師<br>平成24年11月 第28回日本義肢装具学術大会<br>褥瘡予防と福祉用具<br>平成26年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 准教授<br>平成29年10月 公益財団法人介護労働安定センター研修会<br>シーティングの基本<br>平成31年～ 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科 教授 |
|             | <b>【主な資格】</b><br>理学療法士、専門理学療法士 (生活環境支援理学療法)<br>介護支援専門員、福祉用具プランナー、シーティング・コンサルタント   |
|             | <b>【社会活動】</b><br>平成27年6月～ 岡山県理学療法士会理事   |
|             | <b>【所属学会】</b>   |
|             |   |
|             |   |

|           |  |
|-----------|--|
|           | <p>・日本支援工学理学療法学会、日本シーティング・コンサルタント協会</p> <p><b>【著書等】</b></p> <p>・シーティング技術のすべて<br/>医歯薬出版株式会社, 東京 pp. 32-36 2020</p> <p>・The influence of cane tip mobility on the activities of the upper limb muscles and the load amount on the cane during walking<br/>Kawasaki Journal of Medical Welfare 24(1) pp.27-32 2018</p> <p>・The Influence of Rollators with Forearm Support on Walking Speed, Endurance and Dynamic balance<br/>Journal of Physical Therapy Science 24(8) pp. 667-670 2012</p> <p>主な研究業績<br/><a href="https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=ymdoygoyggy">https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=ymdoygoyggy</a></p> |
| 担当、氏名及び略歴 | <p><b>担当講師（講義・評価）：</b><br/>小原 謙一 博士（保健学）</p> <p><b>【職歴】</b></p> <p>平成 14 年：特定医療法人 仁生会 細木病院<br/>平成 17 年：川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 助手・助教<br/>平成 22 年：川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 講師<br/>平成 28 年：川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 准教授<br/>平成 30 年：川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科に名称変更（現在に至る）</p> <p><b>【講師経験・社会活動等】</b></p> <p><b>【講師経験】</b><br/>平成 17 年～川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科（現在に至る）<br/>平成 26 年：第 30 回日本義肢装具学会学術大会<br/>臀部ずれ力軽減を目的とした車いすシーティング<br/>平成 29 年：第 7 回 訪問リハビリテーション実務者研修会<br/>基本動作のメカニズムを理解し、動作の問題点を捉える<br/>令和元年：公益財団法人介護労働安定センター研修会<br/>「座らせきり」の弊害としての褥瘡の基礎知識と予防</p> <p><b>【担当科目】</b><br/>学部担当科目：理学療法評価学Ⅱ、理学療法研究Ⅱ、地域生活環境論</p>  |

|           |   |
|-----------|---|
|           | <p>大学院担当科目：理学療法学実習 A・B</p> <p><b>【主な資格】</b><br/>         理学療法士、専門理学療法士（生活環境支援）、福祉住環境コーディネーター1級、シーティング・コンサルタント、日本義肢装具学会認定士</p> <p><b>【所属学会】</b><br/>         日本支援工学理学療学会、日本義肢装具学会、日本褥瘡学会、日本シーティング・コンサルタント協会</p> <p><b>【著書等】</b><br/>         ・臨床実習で役立つリハビリテーション基本実技 診断と治療社，東京，pp.22-36 2016</p> <p><b>【論文】</b><br/>         ・An investigation into the effectiveness of a novel wheelchair seat-cover assembly for the reduction of forces exerted onto the buttocks. Disabil Rehabil Assist Tech: in press, 2020<br/>         ・Development of a seat cover for a wheelchair on back support for decreasing shear force applied to the buttocks during reclining back support. Kawasaki J Med Welf 24: 61-69, 2019<br/>         ・背もたれ傾斜中における臀部ずれ力の変動と背もたれ上での体幹の上方滑りのタイミングとの関係. 義装会誌 35: 302-308, 2019</p> <p>主な研修業績<br/> <a href="https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=ymdyoyeggy">https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=ymdyoyeggy</a></p> |
| 担当、氏名及び略歴 | <p><b>担当講師（講義・評価）：</b><br/>         永田 裕恒 修士（リハビリテーション学）</p> <p><b>【職歴】</b><br/>         平成 16 年～ 社会福祉法人 旭川荘療育・医療センター<br/>         平成 29 年～ 川崎医療福祉大学 医療技術学部 リハビリテーション学科 助教（現在に至る）</p> <p><b>【講師経験・社会活動等】</b></p> <p><b>【講師経験】</b><br/>         平成 25 年 4 月～ 島根リハビリテーション学院非常勤講師（平成 28 年 3 月まで）<br/>         平成 29 年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 助教</p> <p><b>【担当科目】</b><br/>         臨床基礎実習 I・II、理学療法評価学実習 I・II、理学療法技術実習 I</p> <p><b>【主な資格】</b></p>   |



|           |  |
|-----------|--|
|           | <p>理学療法士、3学会合同呼吸療法認定士</p> <p><b>【社会活動】</b><br/>平成29年4月～ 岡山県理学療法士会社会局局員</p> <p><b>【所属学会】</b><br/>日本理学療法士協会、日本シーティング・コンサルタント協会、日本重症心身障害学会、川崎医療福祉学会、日本義肢装具学会</p> <p><b>【著書等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Influence of the Use of Transfer Aid on Muscle Activity during Standing Motion Assistance. Kawasaki J Med Welf 25: 29-34, 2020</li> <li>・ 在宅重症心身障害児の保護者を対象とした座位保持装置使用に関する満足度調査と座位保持装置に必要な構成要素についての検討. 川崎医療福祉学会誌 29: 119-125, 2019</li> <li>・ 重症心身障害児における姿勢の違いが自律神経活動に与える影響. 理学療法科学 33: 653-657, 2018</li> <li>・ 座位保持装置使用時における重度な障がいをもつ子どもの坐骨部圧力と左右対称性の特徴. 車椅子シーティング研究 2: 23-27, 2017</li> </ul> <p>主な業績<br/><a href="https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=Kggydssi">https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=Kggydssi</a></p> |
| 担当、氏名及び略歴 | <p><b>担当講師（講義・評価）：</b><br/>平田 淳也 博士（リハビリテーション学）</p> <p><b>【職歴】</b></p> <p>平成19年～ 笠岡第一病院（作業療法士）入職<br/>平成27年～ 川崎医療福祉大学 医療技術学部リハビリテーション学科（助教）入職<br/>平成30年～ 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科 講師（現在に至る）</p> <p><b>【講師経験・社会活動等】</b></p> <p><b>【講師経験】</b><br/>平成27年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科（助教）入職<br/>平成30年～現在 認定作業療法士取得研修講師<br/>平成30年～ 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科 講師</p> <p><b>【主な担当科目】</b><br/>運動学、評価学、臨床基礎実習</p> <p><b>【主な資格】</b><br/>作業療法士、認定作業療法士、福祉用具プランナー、カラーコーディネーター2級</p>   |

|           |   |
|-----------|---|
|           | <p><b>【所属学会】</b><br/> 平成 21 年～ 日本作業療法士協会、岡山県作業療法士会<br/> 平成 27 年～ 日本義肢装具学会<br/> 平成 31 年～ 食と生活リハビリテーション研究会</p> <p><b>【社会活動等】</b><br/> 平成 26 年～ 日本作業療法士学会演題査読委員<br/> 平成 27 年～ 岡山県作業療法士会事業部<br/> 平成 29 年～ 「作業療法おかやま」論文査読委員<br/> 岡山県作業療法学会演題査読委員</p> <p><b>【著書等】</b><br/> 1. 平田 淳也, 小原 謙一, 鈴木 啓太, 井上 桂子. 座位作業時における体幹を前方から支持する補助具の影響. 作業療法 38(3):371-378, 2019.<br/> 2. 平田 淳也, 井上 桂子, 鈴木 哲. バランスチェアが VDT 作業時の頸部の筋活動に与える影響. 日本義肢装具学会誌 34(2):150-153, 2018</p> <p>主な業績<br/> <a href="https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=Kgyyksys">https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=Kgyyksys</a></p> |
| 担当、氏名及び略歴 | <p><b>担当講師（講義・評価）：</b><br/> 小池 康弘 修士（作業療法学）</p> <p><b>【職歴】</b><br/> 平成 23 年～ 倉敷リハビリテーション病院 作業療法士<br/> 平成 29 年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科 助教<br/> 平成 30 年～ 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部作業療学科に名称変更（現在に至る）</p> <p><b>【講師経験・社会活動等】</b></p> <p><b>【講師経験】</b><br/> 平成 29 年～ 川崎医療福祉大学医療技術学部リハビリテーション学科</p> <p><b>【主な担当科目】</b><br/> 日常生活活動学実習<br/> 平成 29 年 倉敷市大腿骨頸部骨折地域連携パス研修会<br/> リハビリテーション分野における心理学<br/> 平成 29 年 岡山県作業療法士会 現職者選択研修<br/> 身体障害領域の基礎知識</p> <p><b>【主な資格】</b><br/> 作業療法士</p> <p><b>【社会活動】</b><br/> 岡山県作業療法士会 教育部 部員</p> <p><b>【所属学会】</b></p>   |

|                         |   |
|-------------------------|---|
|                         | 日本作業療法士協会、日本社会医学会、日本学校保健学会  |
|                         | <p><b>【著書等】</b></p> <p>Examination of the Robustness of the Resilience Scale Using Multigroup Analysis, Kawasaki Journal of Medical Welfare,25(2),35-41,2020</p> <p>高校生対人ストレス尺度の項目特性および因子不変性の検討,社会医学研究,35(1),37-43,2018</p> <p>回復期リハビリテーションにおける患者の訓練動機づけ尺度の試作版の開発,川崎医療福祉学会誌,27(2),403-411,2018</p> <p>主な研究業績</p> <p><a href="https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=Kgyydssd">https://kwweb-res.kawasaki-m.ac.jp/kwmhp/KgApp?section=15&amp;kyoinId=Kgyydssd</a></p> |
| (3) 実施体制                |   |
| 研修の企画運営の組織<br>(担当部局・人員) | 川崎医療短期大学 医療介護福祉科  |
| 研修の企画運営に関する<br>諸規程      | 川崎医療短期大学学則、川崎医療短期大学履修規程   |
| 研修管理責任者職名               | 川崎医療短期大学 医療介護福祉科 主任   |
| 研修管理責任者氏名               | 山田 順子   |
| 機構問合先部署                 | 川崎医療短期大学 医療介護福祉科 主任   |
| 機構問合先担当者氏名              | 山田 順子   |
| 機構問合先電話番号/FAX           | Tel 086-464-1032 / Fax 086-463-4339   |
| 機構問合先 e-mail アドレス       | yamada@jc.kawasaki-m.ac.jp  |
| 受講問合先部署                 | 川崎医療短期大学 事務室  |
| 受講問合先担当者氏名              | 大戸 知子   |
| 受講問合先電話番号/FAX           | Tel 086-464-1032 / Fax 086-463-4339   |
| 受講問合先 e-mail アドレス       | shomu@jc.kawasaki-m.ac.jp   |
| (4) 研修履歴の管理体制           |   |
| 受講者への付与単位部門             | 川崎医療短期大学事務室   |
| 受講履歴の管理方法               | 学校法人川崎学園大学事務局情報システム室が管理している学務管理システム及び電子出席簿システムを使用する。システムデータは原則永年保存とする（最低10年）。個人情報の取り扱いにあたっては、法律を遵守する。   |
| 受講履歴の証明                 | 卒業時または退学時に研修修了証を発行する。   |
| 管理責任者氏名                 | 事務室 事務長 田中 俊行   |
| 管理担当者氏名                 | 事務室 大戸 知子   |

(別添資料)

集合研修における具体的なコマシラバス

申請対象の領域 福祉用具と住環境に関する領域

科目名 福祉用具と住環境

集合研修の総時間数 30 時間

第 1 回授業 (2 時間)

| 時間         | テーマ    | 展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)   | 留意事項等 | 担当講師<br>(補助講師) |
|------------|--------|---|-------|----------------|
| 8:45~10:15 | 歩行関連用具 | 歩行補助具としての杖・歩行器の使用目的や種類、適応について確認する。<br>杖・歩行器の構造、機能について講義を通して理解する。杖・歩行器の形状の違いが歩行動作の安定性や上肢の筋肉の活動量、使いやすさに与える影響について理解する。そのうえで、歩行器と杖の操作方法を実技によって確認する。<br>利用者の身体状況に応じた義肢、装具について理解する。 |       | 藤田大介           |

第 2 回授業 (2 時間)

| 時間         | テーマ | 展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)                           | 留意事項等               | 担当講師<br>(補助講師) |
|------------|-----|---|---------------------|----------------|
| 8:45~10:15 | 車いす | 車いすの種類や適応に関して、特にモジュラー式車いすや姿勢保持変換機能付き車いすについて講義によ | 参考図書<br>シーティング技術のすべ | 藤田大介           |

|  |  |   |  |  |
|--|--|---|--|--|
|  |  | <p>て理解する。</p> <p>モジュラー式車いすの調節・調整範囲について操作方法を実技によって確認する。またそれが姿勢・姿勢保持、ポジショニング・駆動動作、移乗動作に与える影響を理解する。</p> <p>姿勢変換機能付き車いすの機能が姿勢保持や圧力分散に与える影響を理解する。その特徴と操作の注意点について理解する。利用者の身体状況に応じた車いすの操作方法を実技によって確認する。</p> <p>福祉車両について説明する。</p> | <p>て 木之瀬 隆 , 森田智之 他 医歯薬出版株式会社 2020</p> |  |
|--|--|---|--|--|

第3回授業 (2時間)

| 時間         | テーマ       | 展開内容 (講義ポイントや演習の展開内容)  | 留意事項等   | 担当講師 (補助講師) |
|------------|-----------|--|---|-------------|
| 8:45~10:15 | 移乗動作関連用具① | <p>移乗動作関連用具としてのスライディングボード・スライディングシートの種類、適応、意義について講義によって確認する。</p> <p>スライディングボードを用いた各種の移乗方法について、自立と介助の両面から考え、利用者、介助者共に安全・安楽な移乗について理解できる。スライディングシートを用いた床上での姿勢変換動作や移乗動作について、自立と介助の両面から考える。トランスボードとスライディングシートを使って使用方法を実技によって確認する。</p> | <p>参考図書</p> <p>シーティング技術のすべて 木之瀬 隆 , 森田智之 他 医歯薬出版株式会社 2020</p> | 永田裕恒        |

第4回授業 (2時間)

| 時間         | テーマ       | 展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）  | 留意事項等 | 担当講師<br>(補助講師) |
|------------|-----------|---|-------|----------------|
| 8:45～10:15 | 移乗動作関連用具② | 移乗動作関連用具としての移乗用リフトの種類、適応について講義によって確認する。床走行リフト、固定式リフト、天井走行リフトなどの特徴と使用上の注意点について理解する。また、その操作方法を実技にて確認する。<br>移動用リフトの吊り具の種類と適応について説明する。移動用リフトと吊り具の使用方法和注意点について、特に床走行リフト脚分離型のものを中心に演習を行う。 |       | 永田裕恒           |

第5回授業（2時間）

| 時間         | テーマ      | 展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）  | 留意事項等 | 担当講師<br>(補助講師) |
|------------|----------|---|-------|----------------|
| 8:45～10:15 | ADL 関連用具 | ADL 関連用具の使用目的や種類、適応について講義によって確認する。<br>介護ロボットの種類と特徴について理解する。<br>ベッド・電動ベッド、マットレスの構造の違いによる利点と欠点を理解する。電動ベッド、マットレスの種類別の適応方法について、特に褥瘡予防の観点から考える。操作方法を実技によって確認する。また、体位変換器、褥瘡予防マット、姿勢保持クッションなど体位保持・褥瘡予防に必要なものの種類と使用方法が理 |       | 小池康弘           |

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  | 解できる。<br>排泄・入浴関連用具について種類と適応を理解する。<br>食事関連用具（自助具）について種類と適応を理解でき、利用者の状況に応じた自助具の選択ができる。 |  |  |
|--|--|--|--|--|

第6回授業（2時間）

| 時間         | テーマ           | 展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）  | 留意事項等 | 担当講師<br>（補助講師） |
|------------|---------------|---|-------|----------------|
| 8:45～10:15 | コミュニケーション関連用具 | コミュニケーション関連用具の種類、適応について理解する。<br>コミュニケーションエイド、障害に応じた様々な入力スイッチの特徴と適応について理解して、重度障害者の意思伝達場面で活かすことができる。環境制御装置の特徴と適応について理解できる。福祉電話や緊急通報装置について理解できる。 |       | 小池康弘           |

第7回授業（2時間）

| 時間         | テーマ             | 展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）  | 留意事項等 | 担当講師<br>（補助講師） |
|------------|-----------------|---|-------|----------------|
| 8:45～10:15 | 住環境整備の基礎知識<br>① | 住環境整備の基礎知識について講義によって確認する。<br>日本の住宅の特徴、生活様式や住宅内事故の状況について説明し、利用者それぞれの生活の場の多様性について理解する。住環境整備に関する多職種連携について理解する。 |       | 小原謙一           |

第8回授業（2時間）

| 時間         | テーマ             | 展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）  | 留意事項等 | 担当講師<br>（補助講師） |
|------------|-----------------|---|-------|----------------|
| 8:45～10:15 | 住環境整備の基礎知識<br>② | 住環境の整備の基礎知識について講義によって確認する。<br>福祉住環境整備の基本である段差、床材、手すり、建具、住宅設備機器（段差解消機・階段昇降機）などの基本知識・技術を演習にて習得する。 |       | 小原謙一           |

第9回授業（2時間）

| 時間         | テーマ           | 展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）   | 留意事項等 | 担当講師<br>（補助講師） |
|------------|---------------|--|-------|----------------|
| 8:45～10:15 | 生活場面に応じた住環境整備 | 要介護状態の人に対する排泄、入浴、食事、就寝、屋内移動、玄関、家の周囲の状況などの生活場面別にみた住環境の整備の具体例と対策、課題について理解する。そのうえで、空間ごとに求められる住環境整備について事例を用いて具体的な住環境整備を理解する。 |       | 小原謙一           |

第10回授業（2時間）

| 時間         | テーマ       | 展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）  | 留意事項等 | 担当講師<br>（補助講師） |
|------------|-----------|---|-------|----------------|
| 8:45～10:15 | 住環境評価（演習） | 事例を用いて、住環境についての評価を行う。要介護状態の人に対する自立支援と介護負担の軽減を踏まえ住宅の安全性、快適性・暮らしやすさをチェックする。 |       | 小原謙一           |



第11回授業（2時間）

| 時間         | テーマ           | 展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）   | 留意事項等 | 担当講師<br>（補助講師） |
|------------|---------------|--|-------|----------------|
| 8:45～10:15 | 障害別にみた福祉住環境整備 | 脳卒中片麻痺、パーキンソン病、神経筋疾患や認知症、視覚障害などの具体的な事例を用いて、障害に応じた住環境整備の具体例と対策、課題について理解する。<br>利用者の自立生活を支援する具体的な住環境整備について理解する。 |       | 平田淳也           |

第12回授業（2時間）

| 時間         | テーマ       | 展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）                                      | 留意事項等 | 担当講師<br>（補助講師） |
|------------|-----------|---|-------|----------------|
| 8:45～10:15 | 事例検討（演習）① | 事例を用いて、福祉用具と住環境整備についての支援計画を立案する。<br>グループ演習により計画の立案・発表を行う。 |       | 平田淳也           |

第13回授業（2時間）

| 時間         | テーマ       | 展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）                                      | 留意事項等 | 担当講師<br>（補助講師） |
|------------|-----------|---|-------|----------------|
| 8:45～10:15 | 事例検討（演習）② | 事例を用いて、福祉用具と住環境整備についての支援計画を立案する。<br>グループ演習により計画の立案・発表を行う。 |       | 平田淳也           |

第14回授業（2時間）

| 時間         | テーマ       | 展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）                                      | 留意事項等 | 担当講師<br>（補助講師） |
|------------|-----------|---|-------|----------------|
| 8:45～10:15 | 事例検討（演習）③ | 事例を用いて、福祉用具と住環境整備についての支援計画を立案する。<br>グループ演習により計画の立案・発表を行う。 |       | 永田裕恒           |

第 15 回授業（2 時間）

| 時間         | テーマ       | 展開内容（講義ポイントや演習の展開内容）                                      | 留意事項等 | 担当講師<br>（補助講師） |
|------------|-----------|---|-------|----------------|
| 8:45～10:15 | 事例検討（演習）④ | 事例を用いて、福祉用具と住環境整備についての支援計画を立案する。<br>グループ演習により計画の立案・発表を行う。 |       | 小原謙一           |